

**港区立白金の丘中学校**  
平成28年度 授業改善推進プラン

- ・関係法規
- ・教育基本法
- ・都、区教委の目標等

- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- 相手を思いやり 礼節ある人
- よく運動をし、強い心と健康なからだをつくる人

- ・学校、地域の実態
- ・保護者や地域の願い
- ・期待される生徒像

**学校経営方針(学力向上にかかわる要点)**

- ☆「確かな学力の定着と向上」を図ることにより「意欲を育て自信をもたせる」教育を行う。
- ☆「白金の丘カリキュラム」に基づいた指導を行い、考え、伝え合う力を育成する。
- ☆学習指導要領に基づいた指導を行い、身に付けなければならない各学年の学力を確実に身に付けさせる教育を行う。

**各教科の指導の重点を確実に生徒に身に付けさせるため次の取組を行います**

**道徳教育の指導の重点**

道徳の授業と教育活動全体を通して、いじめや暴力、差別や偏見のない人権尊重の精神を養い、望ましい人間としての生き方についての自覚を深め、努力する心を育てるとともに、自他の生命を尊重する道徳的実践力を育成する。

**総合的な学習の時間の重点**

発達段階を踏まえ、生徒が課題を発見し、調査・体験・まとめ・発表ができる取り組みを計画、実践する。

課題解決のために必要な情報を、さまざまなメディアを通して調査、収集、整理し、活用する力を育てる。

コーチングの手法により、生徒自らが主体的に課題を発見し、課題解決能力を高められるように指導する。

教科名	取組内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>*小学校までに習った漢字を習得させるために、反復練習や小テストを実施する。</li> <li>*意見や感想など自分の考えを書く活動を行い、思考力や表現力を伸ばす。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>*授業の最初にポイントを伝えて、その部分を意識して学習を理解させる。</li> <li>*小テストを工夫して反復学習を行うことで知識の定着を図る。</li> <li>*授業のプリント・作業シートを工夫し、思考力、判断力、表現力、資料活用力を伸ばす。</li> <li>*ICT教材を活用し、視覚に訴えることで関心を引き出す。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎的・基本的な技能を習得するため、学び直しの時間を確保し、生徒のつまずきに対応する。</li> <li>*既習内容を基にした課題解決学習を行い、互いに意見を発表しあうことで数学的な見方・考え方の育成を図る。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎的、基本的な内容の習得のためワークシートに重要語句、公式、図表等を記入させ、きめ細かい指導・評価を行う。</li> <li>*観察・実験の結果を表やグラフに整理して分析・考察させ、互いに発表し合い、自分の考えを見直し、深めさせる。(アクティブ・ラーニング)</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>*鑑賞においては、聴くポイントを明確にすることで、生徒が考え、発言をする場を多くする授業を展開する。</li> <li>*表現活動では、自分の思いを伝えるために、話し合ったり、工夫したりしたことが、表現できるようにする。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教材における制作過程の段階的な目標を設定し、積極的な姿勢で作業に取り組みせる。</li> <li>*表現する学習において、言語活動の充実を目指し、生活を美しく豊かにする造形や美術の役割を理解させる。</li> <li>*工芸制作において、使う場所や目的を考え、実用性と装飾性を兼ねた、楽しく生活を豊かにするものを構想を練って作らせる。また、伝統工芸について知る。</li> </ul>
保体	<ul style="list-style-type: none"> <li>*スポーツの「面白さ」を経験させることで、運動に対する「意欲」を高め、苦手なことでも繰り返し練習する態度を育てる。</li> <li>*グループで、フォーメーションを考えたり、作戦を話し合う時間を設定する。</li> </ul>
技家	<ul style="list-style-type: none"> <li>*「学ぶ」「つくる」を味わうことで、生活と技術との関わりについて関心を持ち、進んで生活を工夫し創造する力を育てる。</li> <li>*もののしくみや技巧などをICTを活用し、学ぶ意欲を高める。</li> <li>*アクティブ・ラーニングを活用した授業を形成し、学び合い学習の定着を図る。</li> <li>*実習を通して道具や機械などを安全に使用する態度を身に付けさせる。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ペアやグループ活動を取り入れることで、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、教え合い学習に発展させ基礎・基本の定着を図る。</li> <li>*授業内で意見を発信する場面を多く設定する。</li> <li>*スピーチやスキットの発表を通して、表現の能力を育てる。</li> <li>*NTとのやり取りを通して、理解の能力・表現の能力を身に付ける。</li> </ul>

**生活指導の重点**

生徒一人ひとりが生き生きと主体的に活動し、相互に関わりあひ、支えあひ、高めあおうとする態度を育てる。

日常生活における基本的な生活習慣を身に付け社会のルール・マナーを進んで守る態度を育てる。特に「時間を守ること、身だしなみ、話を聞く態度、あいさつをする」ことを重点指導目標とする。

**進路指導の重点**

○小学校からの系統性を生かして、自己の適正、能力に応じた進路を主体的に選択できるよう9年間を見通した指導の充実を努める。

○家庭、地域や関係諸機関との連携を密にし、生徒が将来に対して夢や希望をも生涯にわたる自己実現を図っていくことができる能力や態度を育成する。

○地域での職場体験や上級学校訪問(8年)、職場訪問(7年)などの啓発的体験を推進し、望ましい勤労観、職業観を養う。

**本校の授業改善に向けた視点**

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○行事における授業カットの検討。</li> <li>○儀式的行事、定期考査における授業確保。</li> <li>○行事の精選を図り授業時数確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人ひとりの学習状況に合わせた個別指導の充実。</li> <li>○数学・英語の習熟度別少人数指導の充実。</li> <li>▲ICT機器を活用した指導法の工夫。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導と評価の一体化を念頭に置いての評価活動。</li> <li>○年間評価計画の作成と生徒・保護者への評価方法の説明と周知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆「白金の丘カリキュラム」に基づく指導、「考え、伝え合う」活動を取り入れた授業の工夫。</li> <li>○ICTを活用した授業形態の工夫、意欲を引き出す授業の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者・地域とともに創り上げる運動会・学芸発表会などの諸行事。</li> <li>○学校だより・学年だより・HPなどによる、地域・家庭への情報発信。</li> </ul>